



### 3 わぐわぐ寺子屋プロジェクト

実施団体：わぐわぐ Works 参加者：小学5・6年生 39名  
 実施期間：夏編 令和5年8月21日～23日  
 冬編 令和6年2月23日～25日（各3日間）  
 事業内容：「自分で考えて生きる力を身に付ける」ことを目指す宿泊体験を、夏と冬それぞれ異なるプログラムで実施しました。夏編では山梨県北斗市、冬編では新潟県小千谷市での自然体験を通じて、指示を極力せず、何をすべきかの判断を参加者に任せることで自主性を引き出し、自分で考えて生きる力を養う機会を提供しました。

### 4 原稿用紙に書かない!? お笑い芸人×話す作文ワークショップ

実施団体：NPO法人マナビエル 参加者：小学4～6年生、中学生 66名  
 実施期間：令和5年10月8日～12月17日（全6回）  
 事業内容：言葉で自分を表現することを楽しみ、作文の苦手意識を減らすことを目的としたワークショップを行いました。プロのお笑い芸人ならではの自由な切り口や発想、大胆な表現方法などを体感し、リラックスした状態で自分の内面と向き合うことで、自分らしい言葉の表現に自信を持ち、楽しく文章表現に向き合える力を養いました。

## ご寄附の方法

### ①所定の払込取扱票を使用する（手数料は区が負担）

お近くの郵便局（ゆうちょ銀行）でお手続きください。  
 払込取扱票付きリーフレットは、区民事務所等の区立施設に設置しています。お近くにない場合は、児童青少年課までご連絡ください。



### ②インターネットから申し込む

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」から、お手続きいただけます。  
 右記の二次元コードを読み込んでください。



### ③現金による寄附、その他の金融機関から振り込む

児童青少年課までお問合せください。  
 金融機関からのお振込みは、振込手数料をご負担いただく場合があります。

## ご寄附をしていただくと

### その1 税制上の優遇措置があります

個人	ふるさと納税として取り扱われます。寄附金額から2,000円を差し引いた額について、所得税・住民税から限度額まで原則として全額控除されます。 ※杉並区は、地方税法（第37条の2第2項及び第314条の7第2項）の規定に基づき、総務省からふるさと納税の対象となる団体として指定されています。
法人	ご寄附いただいた事業年度に、全額を損金に算入することができます。
相続	相続や遺贈によって取得した財産を寄附した場合は、その支出は相続税の対象外とする特例があります。

※詳細は、杉並区次世代育成基金のリーフレットをご覧ください。

### その2 お名前を公表させていただきます

「広報すぎなみ」や区公式ホームページ等で、お名前と寄附額を公表させていただきます。（希望者のみ）

### その3 事業報告書等をお送りします

1万円以上のご寄附をいただいた方には、基金を活用して実施した事業の報告書や事業実施者が開催する報告会のご案内をお送りしています。

杉並区児童青少年課【受付時間：平日8:30～17:15】  
 TEL: 03-3393-4760 FAX: 03-3393-4714 ㊚: jisedai-ikusei@city.suginami.lg.jp

# 杉並区 令和5年度 次世代育成基金 活用事業 実施報告書



## 令和5年度にいただいたご寄附

1,645 件 7,522,899 円

## ご支援ありがとうございました。

杉並区次世代育成基金は、次代を担う子どもたちが、自然・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野における体験・交流事業への参加を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できるように支援するための杉並区独自の仕組みです。



## 区が助成して実施された民間事業

（杉並区次世代育成基金活用事業助成対象事業）

杉並区次世代育成基金活用事業助成とは、杉並区次世代育成基金を活用して、子どもたちの様々な体験・交流事業への参加を支援する民間の法人や団体が実施する取組に対して助成するもので、平成27年度より開始された制度です。



### 1すぎなみサイエンス Labo2023

実施団体：NPO法人サイン 参加者：小学4～6年生 215名  
 実施期間：令和5年6月11日～令和6年2月18日（全8回）  
 事業内容：身近な科学を通して自己肯定感を育むことを目的とした科学理科実験教室を開催しました。子どもたちが発信する素朴な疑問や問いかけと一緒に考えながら、成績や評価の無い空間の中で自分を解放できる居場所として、将来へのモチベーションや生きていく力、自ら考え行動する力を育む機会を提供しました。

### 2まもりうたをつくろう!

実施団体：DA / LEDA 参加者：小学4～6年生 20名  
 実施期間：令和5年7月16日～9月2日（5日間）  
 事業内容：作詞作曲を通じてコミュニケーション力や自己表現力を磨き、自己肯定感を高めることを目的としたワークショップを行いました。自分と向き合う方法、言葉を抽出する方法、言葉を音にしていける方法を学び、その成果として世界に一つだけの「まもりうた」を作詞作曲し、報告会で発表しました。



# 区が主体となつて行われた事業

## 1 子ども国内交流事業「杉並区・名寄市子ども交流会」〈児童青少年課〉

**参加者:** 小学5・6年生 16名  
**実施期間:** (名寄市実施) 令和5年7月28日～31日  
 (杉並区実施) 令和5年8月5日～8日  
**事業内容:** 異なる文化や気候風土、生活習慣などに触れる機会をとおして、体験の幅や視野を広げることを目的に、交流自治体である北海道名寄市と杉並区の子どもたちが、お互いの土地を訪れ交流しました。  
 北海道名寄市では「北国博物館」「トロッコ王国」「旭山動物園」「SL除雪列車 キマロキ」などの見学、杉並区では「東京ドームシティ」「ダイバーシティ東京」など都内観光、児童青少年センター「ゆう杉並」でのレクリエーションや思い出クラフトなどをしました。

## 2 子ども国内交流事業「杉並区・東吾妻町子ども交流会」〈児童青少年課〉

**参加者:** 小学5・6年生 16名  
**実施期間:** (東吾妻町実施) 令和5年8月17日～19日  
 (杉並区実施) 令和5年8月19日～20日  
**事業内容:** 杉並区と群馬県東吾妻町との友好都市交流事業の一環として、子ども同士の交流を図り、相互に生活や文化を理解し合うことを目的に、3泊4日で杉並区の受け入れと東吾妻町への訪問を一連で実施、交流しました。  
 東吾妻町では「真田忍者ミュージアム」「草津熱帯園」「やんば見放台」などを見学し、杉並区では「東京ドームシティ」などの見学、児童青少年センター「ゆう杉並」でのレクリエーションや思い出クラフトなどをしました。

## 3 小学生名寄自然体験交流事業〈生涯学習推進課〉

**参加者:** 小学5・6年生 25名  
**実施期間:** 令和5年12月26日～28日／事前学習会(3回)／学習相談会／学習成果発表会  
**事業内容:** 生活・文化等の違いを認め合う心と探求心、豊かな人間性を育むことを目的に、交流自治体である北海道名寄市に児童を派遣し、寒さの厳しい地域だからこそできる様々な体験プログラムを行いました。名寄市の児童とスノーシュートレッキングや雪遊びで交流したほか、スノーモービル体験や天文台での天体観測、博物館では北国の自然や文化、人々の暮らしについて学びました。

## 4 広島平和学習中学生派遣事業〈区民生活部管理課〉

**参加者:** 中学2・3年生 29名  
**実施期間:** 令和5年8月5日～7日／事前学習会(2回)／事後学習会／成果報告会  
**事業内容:** 被爆の実相にふれるとともに、現地の中・高校生との交流を通し、平和の大切さを学び伝えることを目的に、広島へ中学生を派遣しました。原爆ドームの存在感や平和記念式典の厳粛さなど、被爆地・広島でしか体験できないことを学びながら、同世代の仲間たちと交流や議論を深め、平和のために自分たちができるアクション「私の平和宣言」を発表しました。

## 5 交流自治体中学生親善野球大会〈スポーツ振興課〉

**参加者:** 中学2年生 30名 **実施期間:** 令和5年12月26日～29日  
**事業内容:** 中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、国際理解・異文化理解を深める契機とすることを目的に、杉並区と交流のある台湾台北市・福島県南相馬市の中学生と杉並区の中学生が、台湾で親善野球大会を行いました。コロナ禍以降、4年ぶりに台湾を訪問し、現地で直接顔を合わせて交流することで、お互いの地域や文化に触れる貴重な機会を提供しました。

## 6 チャレンジ・アスリート〈スポーツ振興課〉

**参加者:** 小・中学生・高校生 221名  
**実施期間:** 令和5年8月～令和6年3月  
**事業内容:** 「夢に向かって自らの意志でスポーツを選びチャレンジする子ども」の育成を目的に、4事業を用意し、オリンピック・パラリンピック種目の体験を通じて、スポーツとの関わり方やスポーツの持つ多様な可能性に気付く機会等を提供しました。  
 【第1回】フェンシング、パラトライアスロン  
 【第2回】バドミントン、車いすラグビー  
 【第3回】陸上競技(オリ)、陸上競技(パラ)  
**【職場見学】** 理学療法士、スポーツ栄養士、ランニングシューズの商品企画、義肢装具製作・開発、スポーツデータ分析

## 7 中学生海外留学(第11期)〈済美教育センター〉

**参加者:** 中学2・3年生 28名  
**実施期間:** 令和5年8月11日～20日／事前学習会(4回)／事後学習会(3回)／成果報告会  
**事業内容:** グローバル社会の中でたくましく生きるために、豊かな人間性や国際感覚、英語によるコミュニケーション能力など、必要な資質・能力の形成を目指し、杉並区との交流都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市への短期留学を行いました。現地では、現地校での授業体験や課題解決学習、ホストファミリーとの交流などの体験活動を行いました。

## 8 中学生小笠原自然体験交流(第12期)〈済美教育センター〉

**参加者:** 中学生 27名  
**実施期間:** 令和6年3月21日～26日／事前学習会(3回)／事後学習会(3回)／成果報告会  
**事業内容:** 貴重な自然体験や自然に育まれた文化にふれることで、豊かな人間性を育むとともに、環境保全活動の推進役となる世界的視野で持続可能な社会を考えることができる生徒の育成を目的に、世界文化遺産である小笠原村父島を訪問しました。今回は天候にも恵まれ、予定通りシュノーケル体験やビーチクリーニング等を実施することができました。

